

由利高だより

2026.3.6 No.8 (1~3月)



令和8年3月1日、春の訪れを感じる穏やかな日差しの中、本校の卒業式が挙行されました。新たな旅立ちを迎えた卒業生たちの門出を祝う温かな式となりました。今回はこの卒業式の様子と、1~3月に行われた行事の一部をご紹介します。



能美佳央校長は式辞で、「皆さんが仲間に送った励ましは、いつか必ず自分自身を支える力となって返ってきます。これからも一つ上を目指し、自分の道を信じて、前へ前へと進んでください」と卒業生に力強く激励の言葉を送りました。



在校生代表の須田くんは「先輩方が示してくださった努力や仲間を思う姿勢を胸に刻み、私たちもまた大きな歴史を築いていきます」と感謝と決意を伝えました。



式場である体育館は、心配された雨漏りもなく、多くの人に見守られながら、卒業生は新たな一歩を踏み出しました。



卒業生代表の佐藤さんの感動的な答辞では、「『真実為原』の校訓を胸に、それぞれの道を歩んでいきます。仲間と支え合いながら過ごした3年間に誇りに、未来へと旅立ちます」と述べ、高校生活を振り返るとともに、未来への熱い思いを語りました。



WEB版はこちら



ぜひカラーでご覧ください



3年生中国語 ワンタンづくり

1月20日(火)



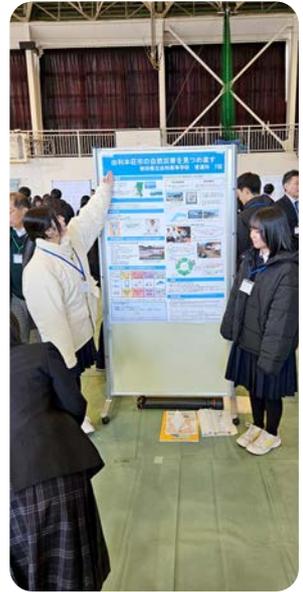
多賀城高校主催の"Re-Dit"ミーティングにポスター発表で参加しました。他校の生徒と交流しながら意見を交わし、学びを深める貴重な機会となりました。



中国語を選択している国際科3年生が、中国式ワンタン作り挑戦しました。協力して包んだワンタンを調理し、最後はみんなでおいしくいただきました。

多賀城高校 3.11 メモリアル "Re-Dit" ミーティング

1月23日(金)



2年理数科 未来へのバトン 震災・防災を学ぶ(4)

[NHK仙台支局 撮影]

2月10日(火)



文部科学省調査官の長田先生による、防災を学ぶ特別授業を受けました。教室にはNHKの撮影クルーも入り、生徒たちは緊張感の中で自分の意見を発表しました。



進路(希望)別に分かれた各会場では、先輩たちが自身の経験を語り、後輩たちは熱心にメモを取りながら、活発に質疑応答を行っていました。



この様子は3月8日(日) 16:30~17:00、Eテレで放映される予定です。

• • • • • 東北大会以上の部活動成績 • • • • •

【ソフトボール部】

第17回東北北海道公立高等学校女子ソフトボール大会 [3/19~21]

【バレーボール部】

第61回東北高等学校バレーボール選手権大会兼NHK杯大会 [6/20~6/22]

天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会東北ブロックラウンド [9/13]

第15回東北高等学校新人バレーボール選手権大会 [2/9~11]

【陸上競技部】

第80回東北高校陸上競技大会 [6/16] 男子円盤投29位(渡邊虎)

【弓道部】

第55回東北高等学校弓道選手権大会 [6/21] 男子個人(郭賀響)出場

第44回東北高等学校弓道選抜大会 [11/22~23] 男子団体 決勝トーナメント進出

第44回全国高等学校弓道選抜大会 [12/23] 男子個人(郭賀悠)出場

【水泳部】

第73回東北高等学校選手権水泳競技大会 [7/18~20]

・女子50m自由形(須藤心) ・100m自由形(須藤心)

・女子100m背泳ぎ(須藤沙) ・200m背泳ぎ(須藤沙)

第33回東北高等学校新人水泳競技大会 [10/24~25]

・女子200m背泳ぎ ・女子100m背泳ぎ(須藤沙)

【ボート部】

第51回東北高等学校ローイング選手権大会 [6/20~21] 女子ダブルスカル3位

全国高等学校総合体育大会ローイング競技大会 [8/2~5] 女子ダブルスカル準々決勝進出

国民スポーツ大会東北ブロック大会ローイング競技 [7/11~13] 少年女子ダブルスカル決勝4着

第40回東北高等学校選抜ローイング大会 [10/18~19]

・男子舵手付きクォドルプル出場 ・女子舵手付きクォドルプル出場

第37回全国高等学校選抜ローイング大会 [3/20~22]

【放送部】

第72回NHK杯全国高校放送コンテスト [7/21~24]

・テレビドキュメント部門出品 ・ラジオドキュメント部門出品

第29回東北高等学校放送コンテスト [2/7~8]

・アナウンス部門(熊谷、佐々木、鎌田) ・朗読部門(正木)

・テレビキャンペーン部門出品 ・ラジオキャンペーン部門出品

【食物部】

オレンジページ第13回ジュニア料理選手権 [11/30] 味の素賞(渡辺心)

祝 第50回全国高等学校総合文化祭(あきた総文2026) 出場決定!

【放送部】放送部門 【民謡部】郷土芸能部門 【科学部】自然科学部門